

第2学年 美術科学習指導案

授業者 古屋 美那実

1. 題材名

「心輝かせた瞬間～感じたことを色や形で表す～」

A 表現(1)ア(ア)(2)ア(ア)(イ) B 鑑賞(1)ア(ア) [共通事項]

2. 題材について

(1) 生徒の実態



(2) 授業について

[題材について]

関係性 **必然性**

自分の思い出から主題に挙げることで自分にとって印象に残っていることを基に主題を生み出すことができる。

難易度 試す活動を入れるなどして抽象表現について丁寧に学びを深めていくことで実現する可能性が感じられる。

多様性 それぞれの気持ちや五感で感じたことを表現することで試行錯誤しながら多様な表現が生まれる。

この授業は自分が経験した思い出の中で、そのときに抱いた気持ちや五感で感じたことをもとに色や形等を工夫し、絵に表す活動である。題材の導入では感情の「怒り」をテーマした表現方法について考える活動を設定した。自分の感情を伝える方法について模索し、言葉で表す以外の手段を考えるとところから、イメージを形や色で表す表現について触れていく。その後、パウル・クレーを始めとした作品を鑑賞し、作者が伝えようとしているテーマを考える。鑑賞を踏まえ、実際に味や感情等の目に実際に見えないもののキーワードの組み合わせをもとに色や形等を工夫し、イメージを絵に表す活動を行う。以上の活動を踏まえ、自分が経験した思い出を振り返る中で主題を見つけ、形や色等を工夫しアクリル絵の具を使って絵に表していく。

指導にあたっては、現段階で自分が取り組んでいることやそのとき感じたり考えたりしていることについてまとめ、整理できるようにしていくためにワークシートを工夫する。さらに、自分の主題を常に振り返ったり、自分が考えた過程を記録したりできるように、振り返りシートを工夫していく。さらに、多様な感じ方に触れることができるように、班で主に活動することで相互鑑賞の機会を充実させていく。

3. 題材の目標及び題材の評価規準

(1) 題材の目標

自分が経験した思い出の中で心が輝やいた瞬間を絵に表す活動を通して、そのときに抱いた気持ちや五感で感じたこと等から主題を生み出し、色彩や形、構成等を工夫して、構想し、表現することができる。

(2) 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、感情や五感などを全体のイメージを捉えることを理解している。</p> <p>技 アクリル絵の具などの生かし方などを身に付け、意図に応じて自分の表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表している。</p>	<p>発 自分の思い出から心が輝いた瞬間等をもとに主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。</p> <p>鑑 伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に主題を生み出し、主題を基に分かりやすさや美しさなどを総合的に考え構想を練ったり、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表したりして表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝達デザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じた方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

4. 題材の指導計画 (全8時間)

時間	学習内容	学びのプロセスモデルに照らし合わせ主体的な姿勢をもたせるための工夫	思考・判断・表現力を育む手立て
1	<ul style="list-style-type: none"> 授業内容を知る。 抽象表現を知る。 	<p>目標設定・方略計画…① ①複数の作品を鑑賞することによって作品のイメージをもたせる。</p>	<p>鑑賞…鑑賞資料の選定 ・主題に関わる発問と表現に関わる発問について問いかけ、実際のこの後の活動に繋がる鑑賞を行う。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> キーワードをもとに表現を試みる。 	<p>遂行…⑧⑨ ⑧⑨キーワードをもとにどのような色や形でイメージされるかが発想を膨らませられるように班の隊形で行い、人の考えに触れられるようにする。</p>	
3 ④ 5 6 7	<ul style="list-style-type: none"> 主題の形成 	<p>遂行…②⑥⑦②⑧⑨ ⑦主題を生み出す際に、生徒にとって身近に感じられるように落とし込む問いかけを行う。 ②⑧自分が表現したい思い出に対して発想が広げられるようにワークシートを活用したり、他者と交流したりできる環境をつくる。 ⑥⑨主題をもとに既習事項も振り返る中でイメージを形や色等を言葉にして具体化させる問いかけを行う。</p>	<p>発想…ワークシートの工夫・発問の工夫 ・生徒の発想が深められるように、考える過程に沿ってワークシートを作成する。 ・主題を生み出す際に、生徒にとって身近に感じられるように落とし込む問いかけを行う。 ・イメージを具体化していくためのワークシートの作成。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 主題の具体化(構想) 	<p>方略調整・遂行…⑩ ⑩主題をもとにイメージを形や色を絵にして具体化させる問いかけを行う。 ⑩手が止まっている生徒には、主題を確認させ状況に応じた問いかけを行う。</p>	<p>構想…生徒間の対話の工夫 ・班の隊形で活動を行うことで、生徒と対話をしながら、イメージを膨らませたり、新たな考えに触れたりできるようにする。</p>

8	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間の作品を鑑賞する。 ・制作した作品について振り返る。 	<u>全体の振り返り</u> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間の作品を鑑賞する中で、自分の作品について振り返る。 	
---	------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------	--

6. 本時の授業

- (1) 日 時 令和6年7月5日(金)
(2) 対 象 2年3組生徒 男子 18名, 女子 18名 計36名
(3) ねらい

主題の形成

・自分の思い出を振り返り、その思い出の中で表したい気持ちや五感で感じ取ったことについて考えることができる。(思考力・判断力・表現力等)

主題の具体化

・アクリル絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。(知識及び技能)
・自分の思い出を振り返り、その思い出の中で表したい気持ちや五感で感じ取ったことを意欲的に考え主題を生み出そうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

(4) 展開 (4/8)

時間	○学習活動 ・活動の内容	指導上の留意点
導入 10分	○前回までの学習について振り返る。 ・生徒の振り返りシートをもとに、全体の進捗状況を確認する。 ○今日の活動のねらいを確認する。 ・自分の段階を確認しながら、見通しをもって活動を行うことを確認する。 ①主題を考えること ②主題を表すこと ③主題を見つめなおすこと ○学習方略を振り返る。	

<p style="text-align: center;">展開 3 5 分</p>	<p>○主題を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思い出を振り返ったり、絵に表す思い出について発想を深めたりしていく。 <p>○主題を表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクリル絵の具等を生かしながら、制作に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班で活動を行っていくことで、生徒が班員と対話をしながら、主題を見つけられるようにしていく。 ・ワークシートを工夫することで、生徒が考えを深められるようにする。 ・主題が見つけれない生徒には、ワークシートを使いながら対話をしていく中で、見つけれられるように働きかける。 <p>・自分の思い出の中で表したい気持ちや五感で感じ取ったものをつねに頭にイメージしながら制作に臨むようにする。</p>
<p style="text-align: center;">まとめ 5 分</p>	<p>○まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートを用いて学習を振り返る。 ・次回の授業の確認をする。 	